



天竜区二俣町のみどころ

1



鹿島の花火（浜松地域遺産）
明治8年（1875）頃から始まったとされる伝統の花火。周囲の山々にこたまし、水面に映えわたる約4,000発の光と音の響きを見る者を引き込み夏を代表する一大イベントとして親しまれています。

2



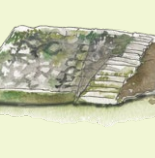
二俣祭り（浜松地域遺産）
「二俣まつり」は、8月21日に近い金～土に行われる二俣諏訪神社の例祭。江戸宝暦年間に始まったと伝わります。祭りの見所は13町13台の屋台の曳回し。屋台が登場したのは約150年以上前の慶応年間とされ遠州地方でも古い歴史を持っています。

3



鳥羽山城跡（国指定史跡）
鳥羽山城跡は、二俣城をめぐる徳川氏と武田氏との攻防戦の際に、徳川方の本陣が築かれました。その後、天正18年（1590）から慶長5年（1600）の間、二俣の地を領有した堀尾氏によって石垣を備えた城郭に改修されました。枯山水庭園や破格の大きな大手道など迎賓館的な性格が強いです。二俣城とは「別城一郭」として、密接な関係がうかがえます。平成30年二俣城とともに国の史跡に指定されました。

4



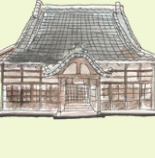
二俣城跡（国指定史跡）
天竜川に臨み、遠州の守り城であったこともあり、徳川軍、武田軍の攻防の舞台となりました。徳川家康の長男、信康が自害せられた場所としても知られます。現在は高さ約4.5mの天守台、野面（のづら）積み、石垣、土壁などが残っています。平成30年国の史跡に指定されました。

5



北鹿島展示休憩施設「田代家」（国登録有形文化財）
開館時間 10:00～16:00
開館日 土・日・祝日（12月28日～1月4日を除く）
田代家は江戸時代に代々嘉平（次）を名乗り、北鹿嶋村の名主を務めるとともに天竜川筏問屋を営んでいた旧家です。天正8年（1580）田代家中興の祖といわれる孫五郎の時、徳川家康に協力した功により天竜川の筏川下り等の御朱印状を賜りました。田代家より寄せられた天竜川舟運関係などの多くの資料とともに散策路の展示休憩施設として活用されています。

6



信康山清瀬寺 信康廟
徳川家康が名付けた寺で京都知恩院の末寺。天正7年、二俣城内にて自害した家康の長男「信康」の霊を祀っています。信康はあの關田信長が最も恐れた若武者です。

7



本田宗一郎ものづくり伝承館（国登録有形文化財）
開館時間 10:00～16:30
休館日 月・火曜日（祝日の場合は開館、よく水曜日は休館）・年末年始
本田宗一郎は明治39（1906）年、静岡静岡郡光明村（現浜松市天竜区）に生まれました。本田宗一郎の人となりやものづくり精神を展示物やワークショップの開催により多くの人に伝えています。この建物は、昭和11年二俣町役場として建築され、昭和45年まで天竜市役所として活用されていました。市庁舎移転後も公民館・図書館として市民に愛され続け、平成15年に国登録有形文化財として文化庁に登録されました。平成23年からは改修の上、本田宗一郎ものづくり伝承館として使用されています。

8



ヤマタケの蔵（国登録有形文化財）
木材や薪を扱う商家内山家の蔵、ヤマタケの蔵。この蔵は南蔵・北蔵・新蔵からなり、新蔵は1923（大正12）年に衣裳部屋として建てられました。同じ敷地内には、天竜地域のまちづくりの活動拠点や交流の場所とするため、多目的スペース、ワークショップスペースも整備されています。

9



秋野不矩美術館
営業時間 9:30～17:00
休館日 月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始、展示替え期間
※但し、展覧会により休館日が異なる場合があります。休館日カレンダーにてご確認ください。
二俣出身で浜松市の名誉市民・秋野不矩（あきのふく）画伯の作品を鑑賞することができます。二俣町を見下ろす縁に囲まれた丘の上に位置し、山の上の雲といった感じのこの建物は、東京大学藤森昭信氏（当時）の設計によるものです。自然素材を大胆に使う作風で、天竜産の杉・松、わら入りの土、わら入りの漆喰、鉄平石などが使われています。

天竜二俣

昭和の香りがする町

- 食 食事
- 歴 国登録有形文化財 国指定史跡
- トイレ

制作 クローバー通り商店会

二俣の町を歩こう！



現在地から・・・

天竜二俣駅
650m

本田宗一郎
ものづくり伝承館
650m

秋野不矩美術館
800m